



45歳 坂戸新時代へ。勇はやと人

ゆけゆけ



GOGO

勇

はやと

人

連合埼玉推薦

無所属

早稲田大学大学院教授 片山善博 推薦文

弓削勇人さんは私のところで地方自治論を学び、秀れた研究論文を仕上げられました。同時に私は弓削さんから地方自治の現場の課題を教えてもらいました。弓削さんが一段と飛躍されることを心から願っています。



ゆげ勇人 プロフィール

1973年10月23日生 坂戸市清水町在住 理美容室8店舗、ドック美容室1店舗 経営
坂戸あずま幼稚園 卒園
坂戸市立千代田小学校 卒業
坂戸市立千代田中学校 卒業
埼玉県立朝霞西高等学校 卒業
明治学院大学 卒業
坂戸理容美容専修学校 卒業(理容師)
立教大学大学院 修了(経営学修士)
早稲田大学大学院 修了(公共経営修士)
前坂戸市議会議員

理美容室8店舗、ドック美容室1店舗 経営

学校法人 北埼玉学園

グルノーブル美容専門学校 経営顧問

坂戸市立千代田中学校 前PTA会長(4期)

西武文理高校 北斗星の会 学年委員(3期)

第一住宅坂戸団地自治会 青年会会长(4期)

鹿児島県の奄美大島出身の父と東京出身の母の間に、4人兄弟の次男として日高市で生まれ、1歳の頃坂戸市柳町に引っ越してきました。それから44年。幼き頃のおやつは、桑の実でした。あとで食べようと団子状にしてとって置き、よく腐らせたなあ…(苦笑)

県の力を使い、坂戸の危機を救いたい。坂戸新時代プロジェクト

坂戸市はこれから急速な高齢化と働く世代の減少により、人口減と税収減にみまわれます。財政が悪化すれば、ご高齢者や障がい者、子育て世代等への支援水準を下げるを得なくなります。私はそんなこれからを変えたい。地元を沈ませるわけにはいかない。その想いから県会議員選挙に立候補しました。



市の財源だけでは困難な新規事業に、県が補助を出すように取組みます。

私は大学院で片山善博教授のもと、「人口増加を果たす要因は何か」を研究しました。坂戸には、子育て世代の定住・転入促進と20代の転出抑制が不可欠です。

他市町村にはない魅力を作るため、ICT教育環境の整備や、給食費無料化等の施策を行い「子育てるなら坂戸」とアピールすべきです。

他方、市外転出者の多い20代へは、就職後の一定期間の居住を条件とし、住民税を財源にした奨学金返済補助制度を行い、人口流出対策を打つべきです。

これらの事業は市の財源だけでは難しい事業です。ですが、県から補助金が出れば実現に近づきます。

これらの施策を実施すれば、人口減・税収減を回避する可能性が高まるのです。



さかっちバス・ワゴンへの、県からの補助および他市町村との連携に取組みます。



小中学校の医療費無償化のように、県内市町村すべてが行っている事業は、県から予算が出るようにし、市の財源を増やすよう取組みます。



危険な通学路対策に取組みます。



県がやるべき水害対策に取組みます。

県議会の現状について

皆様は埼玉県議会で「原発再稼働を求める意見書」が、自民党県議団が主体となり提出され、可決されたことをご存知でしょうか。

原発のない埼玉県が「原発の再稼働をすべきだ」という意見書を全国で初めて国へ提出しました。

私は原発再稼働には反対です。

ですが考え方の違いではなく、そもそも埼玉の県議が率先して意見する立場にあるとは、とても思えません。権力者のおごりでしかないと私は思います。

また議員一人当たり年600万支給されている、政務活動費のインターネット公開も、自民党県議団の先送りにより行われていません。

自民党県議が不正受給をし、辞職したにも関わらず現状を変えません。現在は県の窓口で申請しなければ閲覧することはできません。坂戸市議会は年24万の政務活動費ですが、1円単位で全てネット公開しています。

なぜ県議会では、こんなことが許されるのか。

県議会議員93人のうち自民党県議団は51人。第2会派の「立憲・国民・無所属の会」は9人と圧倒的な数の差があるからです。

私は多様な市民の声を県政に届けたいと考え、無所属で立候補しています。

選挙の結果、皆様から県議会で働く場を与えて頂けたなら、「立憲・国民・無所属の会」で活動し、**上田知事と連携を取り**、坂戸市民にとって必要な政策、県民にとって正しいと思う政治の実現に邁進します。

